

【日本医薬品集DB 2013年10月版】訂正のお知らせ

2014年1月14日

ご購入いただきました【日本医薬品集DB 2013年10月版】（2013年10月末日発行）におきまして、以下の誤りがございました。
ここに訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

■訂正箇所：製品名「プロスタンディン注射用20 μ g」及び

「プロスタンディン点滴静注用500 μ g」における製品個別情報

※製品個別情報は、一覧表示、院内医薬品集作成時の『禁忌（製品個別）』にも使用しています

■訂正内容：“警告”及び“禁忌”事項を挿入

※本文画面の「使用上の注意」には収録されております

「プロスタンディン注射用20 μ g」

【警告】

【1】動脈管依存性先天性心疾患に投与する場合には、本剤投与により無呼吸発作が発現することがあるので、呼吸管理設備の整っている施設で投与すること【2】勃起障害の診断で投与する場合：1）本剤投与により4時間以上の勃起の延長または持続勃起症（6時間以上持続する勃起）が発現することがあるので、勃起が4時間以上持続する症状がみられた場合、速やかに適切な処置を行うこと。持続勃起症に対する処置を速やかに行わないと陰茎組織の損傷または勃起機能を永続的に損なうことがある 2）本剤投与により勃起の延長または持続勃起症、不整脈、一過性の低血圧等が発現することがあるので、本剤を用いた勃起障害の診断は、勃起障害の診断および治療に精通し、本剤投与時の副作用への対処が可能な医師が、緊急時の対応が可能な状況で行うこと

【禁忌】

【1】重篤な心不全、肺水腫（ただし、動脈管依存性先天性心疾患の患者は除く）〔心不全、肺水腫を増悪させるおそれ〕【2】出血（頭蓋内出血、出血性眼疾患、消化管出血、咯血等）〔出血を助長するおそれ〕【3】妊婦・妊娠している可能性の婦人【4】本剤（成分）に過敏症の既往歴

「プロスタンディン点滴静注用500 μ g」

【禁忌】

【1】重症の動脈硬化症及び心あるいは脳に高度な循環障害〔低血圧により症状が悪化するおそれ〕【2】重症の肝・腎疾患〔低血圧により症状が悪化するおそれ〕【3】非代償性の高度の出血、ショック状態、呼吸不全、未治療の貧血〔低血圧により症状が悪化するおそれ〕【4】妊婦・妊娠している可能性の婦人【5】本剤（成分）に過敏症の既往歴

◆院内医薬品集作成時に、上記薬剤の『禁忌（製品個別）』を利用されている場合は、院内医薬品集作成画面で、上記【禁忌】内容の追加入力をお願いします。